

都内の多くの区市町村では、学校週五日制が導入されたことなどをきっかけに、土日や平日の放課後に子どもが安心して過ごせる場所を確保する事業がおこなわれています。こうした取り組みは、仲間づくりや体験活動をとおして、子どもたちが豊かに成長していくこと願って、行政や学校、地域が連携しながら進められています。こうした取り組みの中から今回は奥多摩町の「体験クラブ」、江戸川区の「すすくスクール」、狛江市の「フリースペース」、練馬区の「ねりま遊遊スクール」の4事業を紹介いたします。

## 土曜日の有効活用を「ねりま遊遊スクール」

### 練馬区教育委員会

学校完全週5日制の実施で、休日となった土曜日を子どもたちに有効活用してもらおうと、練馬区では、区内全域で「遊遊スクール」を実施しています。

「遊遊スクール」は、区内全域で300回以上、さまざまな事業・講座が実施されています。地域団体との連携で、子どもの居場所を確保するための講座と、中高校生の団体が小学生を対象とした講座を企画・運営する講座。「遊遊スクール」は、このふたつの事業から成り立っています。

たとえば、特定非営利活動法人みどり環境ネットワークの企画運営による講座、「子ども樹木博士になろう」は、土曜日に保護者と子どもたちに、地域の公園の身近な



樹木にふれてもらおうと行なわれました。これは、地域ぐるみで子どもたちの居場所づくりを考えてもらおうと、NPOや地域の団体に企画を公募し、練馬区からの委託事業という形で実施されているものです。

中高校生たちが企画する講座は、現在中学校の部活動を基盤に、会場校の協力を得ながら実施しています。

たとえば、練馬区立中村中学校のバドミントン部員たちが、バドミンの楽しさを子どもたちに伝えようと、顧問の先生のアドバイスを受けながら講座を実施しました。中村中学校で実施された講座、『バドミンを楽しもう!』が終わって、部員の中学生たちは「参加してくれた小学生たちの楽しそうな顔を見ることでうれしかった。」という感想を述べています。大人がすべてお膳立てするのではなく、中高校生たちに運営を任せることで、子どもたちのなかに地域の「指導者」が生まれています。

練馬区では、地域団体、中高校生に土曜日の事業や講座を委託することで、実施する楽しさを実感してもらい、地域ぐるみで子どもたちの活動に取り組む体制づくりをめざしています。

お問い合わせ先

練馬区教育委員会生涯学習課学び支援係  
電話 03-5984-2438

## 放課後に安全に遊べる場所を「子どもフリースペース」

### 狛江市教育委員会

狛江市教育委員会では、子どもたちが放課後に、安全に、そして集団で遊べる場所を充実させることを目的に、平成13年度から「子どもフリースペース」を発足させています。小学校の校庭や体育館や教室等を使ったフリースペースを実施会場としており、子どもたちは一旦帰宅することなく、放課後の遊びに入ることができます。現在、実施しているのは狛江市立狛江第一小学校、第五小学校、第六小学校の3校ですが、今後、毎年1校ずつ増やして最終的には市内全7校で実施する計画で押し進めているそうです。実施日は、原則として通常授業のある月曜日から金曜日までの日で授業終了時から午後5時(冬季は午後4時30分)までです。平成14年度に実施した2校で、322日実施され、延べで1万人近い子どもたちが利用しました。参加を希望する子どもは社会教育課に参加登録をしますが、学校によっては9割近い子どもが参加登録をしています。このフリースペースは、子どもたちが楽しく自由に遊ぶことを基本にしています。各校には、地域のお母さん方を中心にしたスタッフが配置され、子どもたちの安全管理とともに、子どもたち同士が仲良く遊べるように手助けをする役割を担っています。

ただし、フリースペースの目的は、仲間と一緒に遊びながら人間関係を深めたり、トラブルを解決していく力を身につけることを目的にしていますから、なるべく子どもたちの自主性を尊重して、見守っていくことを基本にしています。子どもたちからは、「他のクラスにも友だちができた」「広いところでおもいっきりボール遊びができるようになった」等の感想が寄せられているそうです。



お問い合わせ先

狛江市教育委員会社会教育部社会教育課  
電話 03-3430-1111(内線2371)